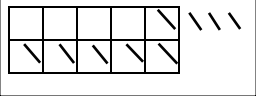
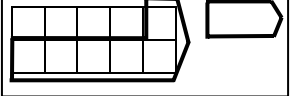
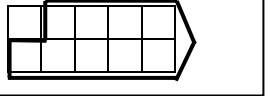


5 本時(1時間目)の学習指導

- (1) 目標・(十何)-(1位数)で繰り下がりのあるひき算について、数図ブロックなどを操作し、計算方法を考えることができる。
 ・お互いの考えを聞き合い、様々な計算方法を比べることで、「10のまとまりに着目すると、はやく簡単に計算できる」ことに気付くことができる。
- (2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性	
			T 1	T 2
<p>1 題意を把握し、立式する。</p> <p>2 13 - 9の計算の仕方を考える。</p> <p>(1) 自分の考えをノートにまとめる。</p> <p>(2) ペアで話し合う。</p> <p>3 それぞれの考えについて全体で話し合う。</p> <p>4 ひきざんマンに手紙を書いて、学習を振り返る。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>かきが13こあります。おなかをすかせたかいじゅうが、あつというまに9こたべました。のこりは、なんこでしょう。</p> <p>はやくてかんたんな、13 - 9の計算のしかたを考えよう。</p> <p>数図ブロックを使って考えよう。</p> <p>13から1ずつ9ひいて、のこりは4。</p>  <p>まず3をひいて10。10から6をひいて4。</p>  <p>10から9をひいて1。1と3で4。</p>  <p>1つずつ順番に食べているよ。 ちょびちょびかいじゅう食べ・じゅんばんぼう</p> <p>9を2回に分けて食べているよ。 二口かいじゅう食べひくひくほう</p> <p>10のかたまりから一気に食べているよ。 一口かいじゅう食べひくたすほう</p> <p>どのやりかたでも、答えは4こになるね。 じぶんの考えは、さんと同じだよ。 さんの考えの、～なところがいいな。</p> <p>いろんなやり方があるなあ。 10のまとまりからひくと、はやくてかんたんにできそうだよ。</p>	<p>課 学習用具がそろっていない児童や教師の話が聞けていない児童へ声をかける。</p> <p>課 問題文の中のキーワードを見つけられない児童へ助言し、立式できるようにする。 教室</p> <p>・自分の考えの表現の仕方で行っている児童にヒントカードを渡す。</p> <p>共 自分の考えがもてた児童に、オープンスペースで友達と考えを紹介し合うよう、声をかける。</p> <p>評 13 - 9の計算方法を考え、ノートに書くことができたか。</p> <p>・それぞれの考えに名前をつけることで、特徴を児童に意識付ける。</p> <p>・違う数字を当てはめてかいじゅうの食べ方を示し、「減加法がはやくて簡単だ」ということに気付かせる。</p> <p>・ひきざんマンに手紙を書いてポストに入れることで本時の振り返りができるようにする。</p> <p>評 友達の考えを比べることで、10のまとまりに着目すると、はやく簡単に計算できることに気付くことができたか。</p>	<p>課 ひきざんマンからのまきものを紹介し、課題に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>見 立式の際には、分かっていることと問われていることを色分けし、視覚的にとらえられるようにする。</p> <p>オープンスペース</p> <p>・自分の考えがもてない児童にヒントコーナーで考えるよう声をかける。</p> <p>見 自分の考えがもてない児童に、具体物を用いながら考えられるよう支援する。</p> <p>・かいじゅうの食べ方を人形で示すことによって、それぞれの考えのよさや違いを明確にする。</p> <p>共 ヒントコーナーで個別指導にあたった児童に、友達の考えをしっかりと聞いて自分の考えと比べられるよう助言する。</p>